

◆ 基本目標2 元気モリモリ活力あふれるまち					
個別目標2	1	地域コミュニティ	地域コミュニティ推進協議会の設立	×	町は設立のための支援は行うものの、地域コミュニティの推進をコントロールする立場ではないという点から、指標としないこととした。
		地域交流	海外派遣児童・生徒数	×	国際交流事業という本来の目的について改めて見直すことから本事業そのものを廃止し、新たに制度設計を行い、平成31年度より取り組む予定である。
	2	農業	農用地の利用集積面積	○	既存の利用権設定面積の維持に努めるとともに、耕作の意思のない所有者の掘り起こしを図り、認定農業者への利用集積を引き続き行う。
			地元農産物直売所の開催日数	○	愛知北農協扶桑支店にて週5日間開催の農産物直売所が開設されたことで、設定すべき指標として不要となった。
		家庭菜園数	×	都市的土地利用が進む現状を勘案すると新設が困難であり、指標として設定するには不向きである。	
	商工業・労働	商店数	×	減少を緩やかにしていく考え方で指標を設定していたが、新たに創業する事業者の数を指標として設定することとした。	
工業事業所数		×	減少を緩やかにしていく考え方で指標を設定していたが、新たに創業する事業者の数を指標として設定することとした。		
◆ 基本目標3 未来をそだてるまち					
個別目標3	1	学校教育	小中学校校舎耐震化率	○	耐震化工事を実施することが目標であったため、次の計画においては指標として設定しない。
			小中学校体育館大規模改修	×	町内の小中学校のエアコン整備と合わせ、計画的に実施していかねばならない。
		青少年育成	家庭教育推進事業参加者数	×	参加人数も徐々に増加してきたが、講演会の実施方法についてさらに工夫を加えることを検討していく。
	生涯学習	文化団体の育成	×	育成は継続すべきだが、高齢者の団体が解散・脱退する傾向が高まったため、次の計画では協会の加入団体数を指標として設定することとした。	
		図書貸出点数	×	図書館として設定する指標として最も具体的なものであることから、次の計画においても引き続き設定することとした。デジタル図書の普及等により全国的に低調であるが、対抗できる魅力づくりが必要と考える。	
	2	生涯スポーツ	既存スポーツ施設の改廃・改修率	×	利用者の安全性や利便性を考慮の上、限られた財源の中で今後も計画的に改修を行っていく。
			スポーツ団体の育成	×	高齢化などが原因で会員数は減少傾向にある。設定した指標の値を見直した上、次の計画においても引き続き目標指標として設定していく。
			総合型地域スポーツクラブの設立数	×	設立そのものを目的としていた本計画での目標を、次の計画では会員数を目標指標として設定することとした。
	文化・芸術	文化会館催事への参加	×	計画期間中に実施するアンケートによる数値の把握であるため、目標指標には不向きである。	
		文化会館でボランティアに携わる人数	×	NPO法人の解散が原因で人数が激減したものの、指標の値を見直した上、次の計画においても引き続き目標指標として設定していく。	
	3	男女共同参画社会	委員会等の女性登用状況	×	女性の活躍推進に向けた取り組みを積極的に推進していくことから、次の計画においても引き続き設定することとした。 (次ページへ続く)

第4次扶桑町総合計画における目標指標達成率を公表します

政策調整課 内線 315

第4次扶桑町総合計画（平成20年度～29年度）において定めた目標指標に対する平成29年度末の目標指標達成率については、41.94%（62項目中達成26項目）でした。各施策ごとの達成状況の結果及び総括については、別表のとおりです。

まちづくりの基本目標		達成状況評価	総評及び今後の対応等		
◆ 基本目標1 ふれ愛のまち					
個別目標1	1	子育て支援センター利用者数	×	子育て支援の大きな柱であった「子育て支援センター」が、長い年月の中で「あって当然の存在」になったことで、平成24年度をピークに利用者数が減少していった。	
		一時保育定員数	○	限られた施設の状況のもとで、当初の目標を達成した。しかし、これ以上増員することはスペースの問題から非常に困難である。	
		放課後子ども教室	○	設置することが目標であったため、次の計画においては指標として設定しない。	
	高齢者福祉	老人クラブの会員数	×	高齢者の活躍の場が多様化したこと等が原因で、新規加入者が少なく会員数が減少してしまった。	
		宅老事業	○	介護保険の計画の方針に沿っており、目標を達成できた。地区の自主的な活動を促進するため、次の計画においても実施箇所数を継続して設定していく。	
	2	障害者福祉	障害者の施設入所者数	×	国の目標に準じ入所者数そのものを指標としていたが、次の計画では「入所者を地域に戻した人数」を設定することとした。
			要介護・要支援認定者の割合	×	65歳以上の高齢者のうち介護認定者の割合をできるだけ抑えていきたいという目標であり、次の計画でも継続して設定することとした。
		社会保障	特定健康診査の実施率	×	第3期国民健康保険特定健診等実施計画に基づき、目標の達成に向けて次の計画でも継続して設定することとした。
	3	健康づくり	歯の健康指標	○	目標は達成したが、達成の維持に向けて成人・糖尿病歯科健康診査を実施し、歯の健康維持に努める。
			インフルエンザ予防接種	×	高齢者の予防接種という点では重要だが、すべての年齢においてインフルエンザへの予防に対する意識が高まっていることもあり、次の計画における指標とはしない。